

米国 TSCA 第 6 条 既存物質リスク評価優先付けプロセスの動向

1. 2023 年 12 月に優先付けプロセスを開始した 5 物質

米国環境保護庁（EPA）は 2023 年 12 月、リスク評価の候補物質として、新たに 5 つの化学物質の優先付けプロセスを開始することを公表し 90 日間の意見募集を行いました。次いで 2024 年 7 月、EPA はスクリーニング評価の結果、それら 5 つの化学物質をリスク評価の対象となる高優先物質に指定することを提案しました（コメント期間：2024 年 10 月 24 日まで）。もしこの提案通りに確定した場合、EPA は直ちに下記 5 物質のリスク評価プロセスを進めることになります。

<高優先物質指定提案の 5 物質>

- Vinyl Chloride
- Acetaldehyde
- Acrylonitrile
- Benzenamine
- 4,4'-Methylene bis(2-chloroaniline) (MBOCA)

2. 優先付けプロセス候補物質に関するウェビナーの開催（9 月 30 日、10 月 1 日）

2024 年 8 月、EPA は次回優先付けプロセスを行う可能性のある化学物質について、一般からの意見を収集するため 2 回のウェビナーを開催し、コメントを募集することを発表しました（コメント期間：10 月 1 日から 30 日間）。ウェビナーでは、以下について説明及び情報が提供される予定です。

- ✓ 優先付けプロセスの概要
- ✓ 次回の優先付けプロセスが検討されている 25～30 の候補化学物質のリスト
- ✓ プロセスにおけるパブリックコメントの機会
- ✓ 高優先物質/低優先物質の指定の検討材料となる情報の概要

また EPA は、次回の化学物質の優先付けプロセスを 2024 年 12 月に開始する予定であることを発表しました。対象物質は、ウェビナーで提示される候補化学物質リストの中から 5 つ選定される予定です。

参考：

EPA | Biden-Harris Administration Takes Latest Action Under Toxic Substances Control Act to Protect Public from Exposure to Harmful Chemicals

<https://www.epa.gov/newsreleases/biden-harris-administration-takes-latest-action-under-toxic-substances-control-act>

EPA | U.S. EPA Webinar on Next Round of Chemical Substances Being Considered for Prioritization Under TSCA
(September 30 and October 1)

<https://www.epa.gov/assessing-and-managing-chemicals-under-tsca/us-epa-webinar-next-round-chemical-substances-being>

■お問い合わせ先

株式会社三菱ケミカルリサーチ 製品安全評価部門

〒160-0017 東京都新宿区左門町 16 番地 1 四谷 TN ビル 5 階

HP : <https://www.mitsubishichem-res.co.jp/psa/contact/>